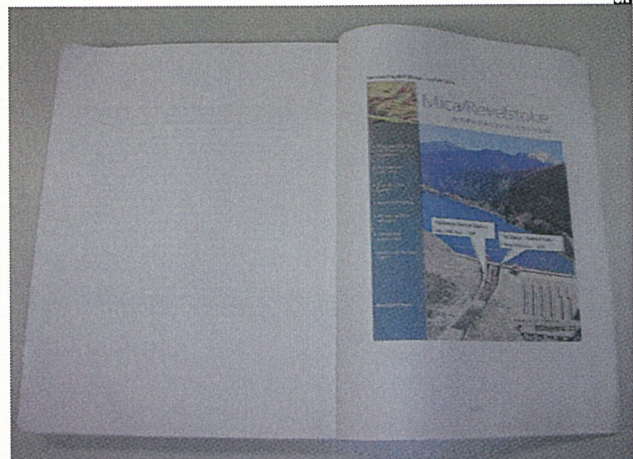
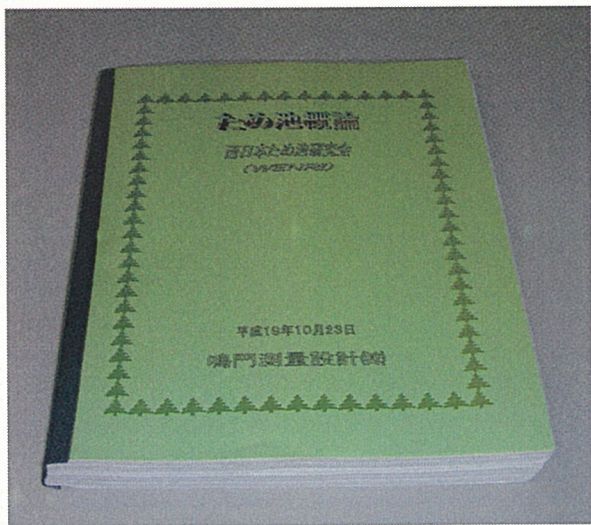


- 1 表面遮水シート工法の(設計・施工マニュアル)を作成して中心刃金工法を含めた{ため池概論}が完成した。ため池概論 p257ある。
- 2 シート工法の解析は多様な材料を完全遮水材と不完全遮水材に別けることから始まる。次に工事中の降雨によってシート上面に発生する浸透力にともなう覆土の局所すべりチェックとため池完成後の堤体全体の安定計算を必要とする。国立高松高専の恩師春本名誉教授・向谷准教授(工学博士)の強力な御指導・御助言なくして今日の進展はなかったと思う。
- 3 降雨による斜面崩壊の理論を発展させればシート上の覆土内のすべり解析が可能であることが分かりチャレンジ中に土壌物理学という非常に難しい分野の重要性に気がついた。不飽和透水係数と飽和透水係数を区別して斜面に降雨が降れば、覆土内の飽和度がどのように変化し、シート上面での浸潤線の形状と流出量がどのようになるかそして安全率の算定(PSRからSFを求める)まである程度目途がついて少しは安堵している今日この頃である。  
PSRという新しいパラメータを導入することにより、容易に安全率(SF)を求められることは元ホージュンの溝渚氏の資料提供によるところが大きい。
- 4 この分野に入るきっかけは国営ため池の設計で元カネボウ化成の高村氏のご指導を仰いだことが最初であった。三ツ星ベルトの加納氏・大城氏、ホージュンの水野(両)氏や溝渚氏、さらにはボルクレイジャパンの加藤氏やライフの平田氏そして岡三リビックの中村氏など蒼々たる方に大変な御助言を頂いた賜物と感謝している。  
京都大学・島根大学・愛媛大学・香川大学の先生方にも、お忙しいところ勝手に押しかけ御助言を頂いた。難しい材料ですが将来の築堤土の不足問題を解決するため、諸氏のお力をお借りして何とか前刃金工法に変わる代替工法の確立に努めたいと思っている。

高松高専客員教授

H20.3.11 田中



主な掲載内容	
・ため池アタカメ	1
・はじめに	2
・西日本ため池研究会への参加について	4
・ため池概論	14
1. ため池とは	14
1-1 改修に供する土とはどんな土?	16
1-2 築堤材料の選定条件とは?	17
1-3 ため池の耐用年数は?	
2. ため池改修フローチャート	
2-1 ため池の構造と名称	
2-2 ため池改修の実態	
2-2-1 老朽ため池改修の時	
2-2-2 災害復旧の時	
2-2-3 補償工事の時	
3. ため池復旧診断調査概要	
4. 漏水調査概要	
5. 設計工法概要	
5-1 前刃金工法	
5-2 中心刃金工法	
5-3 表面遮水工法	
5-4 グラウト工法	
6. 特殊地盤対策工法概要	
7. 最近の研究開発	
8. ため池の水質・浄化対策	
9. 漏水補償問題と現況	
10. 参考文献	
11. 池の施設機械	
12. 池の付属設備	
13. 実態写真	
14. 表面遮水工プログラム	30
表面遮水工設備図解プログラム	
表面遮水工源土(保水型)すべり解析プログラム	
表面遮水工源土(無保水型)すべり解析プログラム	
基礎地盤改良解析プログラム	
15. 設計参考資料	96
15-1 工法比較表	97
15-2 設計図	106
① 表面遮水工実施図面	106
② 小水力発電図面	117
③ 地下ため池図面	122
15-3 漏水調査の実態	123
15-4 土壌改良	147
15-5 表面遮水シート工法の設計法	170
15-6 基礎地盤改良によるため池改修工法	172
15-7 基礎注入工法の実態	185
15-8 地盤改良工法の実態	202
15-9 フォーブル資料	229
16. あとがき	245
17. ホームページ	248
18. 補完参考資料	251
18-1 中心刃金工法の実態	251
18-2 手法発表資料	257